

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-3-4		事業名	歩道の凍結路面对策による歩行環境の改善
担当	建設局管理部雪対策室事業課 尾崎 211 - 2662			
全体計画（当初）				
事業内容	冬期道路交通の円滑化と安全性の向上のため、凍結路面对策として、公共施設周辺の歩道の凍結防止剤散布延長の増強、散布専用車増強及び歩行者用砂箱設置数の増強などを行う		＜年度別の事業内容＞	
			凍結路面对策（歩道散布延長増強） 150km 350km（レ ¹ 200km） 付帯除雪（歩行者用砂箱増設） 422個 600個（レ ¹ 178個） 除雪機械整備（散布車増強） 4台 8台（レ ¹ 4台）	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	・凍結路面对策（歩道散布延長増強） H15年度比 100.0km ・付帯除雪（歩行者用砂箱増設） H15年度比 100個		・凍結路面对策（歩道散布延長増強） H16年度比 0.0km（延長増なし） ・付帯除雪（歩行者用砂箱増設） H16年度比 78個（計600個） ・除雪機械整備（散布車増強） H16年度比、増車なし（計4台）	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	・凍結路面对策（歩道散布延長増強） H16年度比 0.0km（延長増なし） ・除雪機械整備（散布車増強） H16年度比、増車なし（計4台）		歩行者砂箱の増設については、H17年度をもって目標を達成した。 さらに、企業名入り砂箱の設置はH17に52個、H18に27個の増設があった。 凍結防止剤散布延長の増強、散布専用車の増強については、目標を達成出来なかったが、歩行環境を改善するために、砂まきキャンペーンの実施、コンビニエンスストアの砂まき協力、ペットボトルに砂を詰めて利用しやすくする等の取り組みを実施するとともに、歩行者用砂袋1.5kgを本格採用した。	
課題				
冬期歩行環境の改善については、市民要望も高く重要な課題の一つとなっている。しかし、事業量の増加に対する財源確保が難しく、散布車増強などが困難な状況となっている。				
19年度以降の方向性・事業の予定				
市民との協働による冬期歩行環境の改善が必要であり、市民へのPR（砂まきキャンペーン）及びコンビニエンスストアの協力による砂まき等の取り組みを18年度に引き続き実施する。 また、職員等によるペットボトルに砂を詰め利用しやすいような取り組みについても引き続き実施予定。 さらに、企業名入り砂箱の募集も行う。				

